

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372101440
事業所名	グループホーム 燦ふくおか

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 利用者の高齢化、重度化が進み、小学校で行われる地域の運動会や敬老会には一部の利用者が参加しているが、町内会や神社の清掃活動は職員だけの参加となっている。 2～3ヶ月に1度、地域の65歳以上の高齢者を対象としたサークルに出向き、職員が認知症理解のための講師を引き受けている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2ヶ月に1度の運営推進会議が開催されており、毎回10名以上の外部からの参加者があって盛況である。 会議はで、報告事項の後に勉強会を設定し、「市が取り組む高齢者見守りネットについて」、「インフルエンザ・ノロウイルスについて」、「NHKスペシャル シリーズ認知症革命」、「熱中症とは？」等のテーマで話し合っている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議には、毎回地域包括支援センターの職員が参加している。 会議の中で、地域包括支援センターの職員が講師を務めて「地域包括支援センターとは」、「高齢者見守りネットワークとは」等のテーマで勉強会を実施し、参加者への啓蒙を図っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 運営推進会議には毎回3～5組の家族が参加している。家族の参加者について、特定の家族に固定化の傾向がみられることから、管理者は参加家族の裾野を広げるための取組みを考慮中である。 利用者の状況や様子を的確に伝えるためにフェイスブックの開設を予定し、家族アンケートを取ったが賛否両論が出た。現在、折衷案にて運用を始めている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	○	◎			